

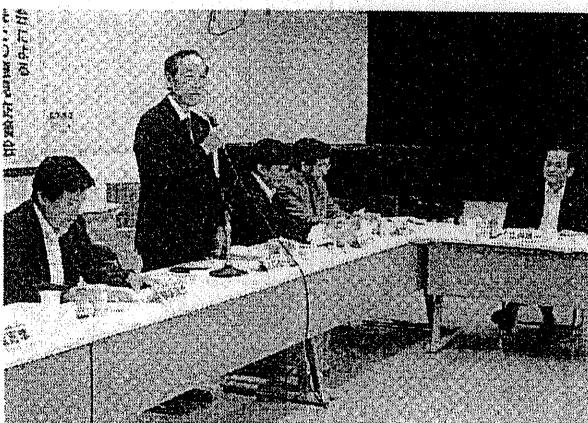
## 自由民主党過疎対策特別委員会

和歌山県・過疎関係市町村長との意見交換会

【平成20年6月9日（月）実施】

新聞記事

平成20年6月10日（火） 紀伊民報 11面



自民党過疎対策特別委員会が紀南地方の各首長から過疎の現状を聞いた意見交換会（9日、すさみ町で）

自民党過疎対策特別委員会（委員長：山口俊一衆院議員）は9日、すさみ町の町総合センターで「県・過疎関係市町村との意見交換会」を開いた。

1970年制定の過疎法は10年目に延長された後、現行法は残り2年に近づいている。このため、自民過疎対策特別委員会は全国の過疎地を視察し新たな問題点を探っている。この日、山口委員長と共に過疎地への支援を要望する委員長代理の健保庸介参

院議員が、すさみ町の過疎地、大鎌集落を視察した後、県内の市町村長らと意見を交わした。

白浜町の立谷誠一町長は「町内には限界集落やその予備軍が多い。地方は都合に人材を供給してきた。限界集落への対策

は国家レベルで考えてもいい」と要望した。健保委員長代理は「地方があるて、そ都會がある」という認識が国には欠けていて、2年後の過疎法更新に向け新たな理念をつくりていきたい」と述べた。

北山村の奥田貢村長は

# 紀南の首長ら支援要望

自民党過疎対策特別委員会（委員長：山口俊一衆院議員）は9日、すさみ町の町総合センターで「県・過疎関係市町村との意見交換会」を開いた。

1970年制定の過疎法は10年目に延長された後、現行法は残り2年に近づいている。このため、自民過疎対策特別委員会は全国の過疎地を視察し新たな問題点を探っている。この日、山口委員長と共に過疎地への支援を要望する委員長代理の健保庸介参

院議員が、すさみ町の過疎地、大鎌集落を視察した後、県内の市町村長らと意見を交わした。

白浜町の立谷誠一町長は「町内には限界集落やその予備軍が多い。地方は都合に人材を供給してきた。限界集落への対策

は国家レベルで考えてもいい」と要望した。健保委員長代理は「地方があるて、そ都會がある」という認識が国には欠けていて、2年後の過疎法更新に向け新たな理念をつくりていきたい」と述べた。